

ニッセンケンが神奈川県 [子どもの傷害予防教育事業] に協力しています
 ▶ 社会全体で 未来ある子どもを守るために ◀
幼稚園・保育園を訪問し 安全な衣類の普及・教育活動

一般財団法人 ニッセンケン品質評価センター(駒田展大理事長)は、公益社団法人 日本消費生活 アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)と連携し、公的事業・神奈川県 [子どもの傷害 予防教育事業] に取り組んでいます。

神奈川県内の幼稚園・保育園を訪問し、園児の皆さんに、衣類・ファッションをテーマに「交通事故予防=高視認性安全服」、並びに「子ども服のひもの危険性=JIS L 4129」をお伝えしています。



高視認性安全服について、園児目線で分かりやすく説明する当財団 防災・安全評価グループ 竹中直グループ長 (正面 左から2人目)

2018 年度から実施している本事業は、好評のため今年度も継続されています。現在までに 6 園・合計 8 回の講座を実施し、園児約 300 名、園長・保育士 50 名、保護者 30 名等、のべ 400 名近い園関係者の皆様にご参加をいただいています。

講座では、子どもを守る妖精を主役にした紙芝居や、子ども服を 40 着程用意しての危険なひもを探すグループ別ワークショップ、さらに園児が全員参加しての「ひも探しクイズ」をするなど、子ども達が集中して楽しく学んでもらえるようプログラムを工夫しています。来年 1 月までに、さらに 4 園を訪問する予定となっています。

社会全体で、未来ある子ども達を守る。ニッセンケンも、繊維製品の安心・安全を通じ、1つでも多くの貢献ができればと考えています。



- 子どもの不慮の事故防止
- 交通安全対策



- 子どもへの教育



- 安全製品情報の提供



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

本活動は、日本政府の SDGs 推進本部が提唱する実施指針とリンクするものです



追加情報 ▶▶▶ 本講座が毎日新聞 2019 年 9 月 22 日付朝刊「くらしナビ ライフスタイル(かわいい服 どこが危ない?)」で取り上げられました。毎日新聞 WEB <https://mainichi.jp/articles/20190922/ddm/013/100/020000c>